

Welcome to 沼土

令和 8 年 5 月 1 日
静岡県沼津土木事務所

【事業名】（主）伊東修善寺線 道路改築事業（渋滞対策＆無電柱化）

【事業概要】

県道伊東修善寺線は、伊豆半島中央部を東西に貫く主要地方道です。全国的にも有名な温泉地である伊東温泉地と修善寺温泉地をつなぐ延長13.7kmの幹線道路です。

当事業箇所である修善寺駅周辺部は、国道136号との交差点と連動した複雑な信号制御などにより、慢性的な渋滞が発生しています。そうした中、伊豆市では「修善寺駅周辺まちづくり基本構想」を策定し、公共交通の利便性向上、賑わい創出及び歩行者安全対策を推進していくこととしています。このため県は、伊豆市の将来構想に合わせた道路改良及び電線類地中化等の事業を段階的に進めていきます。

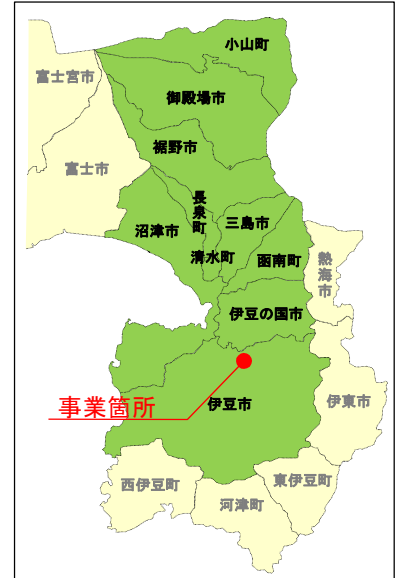
【事業計画】

事業箇所：伊豆市柏久保（伊豆箱根鉄道修善寺駅前）

事業期間：令和6年度～令和12年度（短期計画）

計画延長：約200m

計画幅員：約18m



【取組み状況・今後の予定】

令和7年度まで

- ・「修善寺駅周辺まちづくり基本構想」策定（R5.7）
- ・詳細設計（R7）、用地測量・物件調査（R7）

令和8年度（予定）

- ・用地・物件補償、電線共同溝詳細設計

＜課題点＞複雑な交差点形状



＜課題点＞慢性的な渋滞発生状況



＜伊豆市の取り組み＞修善寺駅前広場



修善寺駅周辺まちづくり基本構想

令和5年7月 伊豆市

修善寺駅周辺地区のまちづくりの検討と（主）伊東修善寺線の改良

■地区の位置付けとまちづくり構想の検討経緯

- 位置付け**
- ・伊豆市の鉄道の玄関口
 - ・伊豆市の中心的役割を担うエリア
- 検討経緯**
- ・令和4年4月の修善寺駅前区タウンミーティング、市から県への要望等を経て、静岡県による主要地方道伊東修善寺線（修善寺駅前区間）拡幅の検討開始。
 - ・市では、県道拡幅の整備効果を活かすため、地域住民、商業、バス・タクシー等の事業者の皆さんと意見交換を行い、まちづくり基本構想の作成を推進。

■地区の現状と課題と構想の目的

- 現状と課題**
- ①修善寺駅周辺は、伊豆市の玄関口として、公共交通の利便性向上、にぎわい創出に加え、歩行者の安全確保も必要。
 - ②横断交差点に起因する慢性的な渋滞が生じ、観光、経済活動への大きな支障になっており、総合的かつ抜本的な対策が必要。
 - ③（主）伊東修善寺線では、横断交差点の渋滞長による詰まりに加え、修善寺駅周辺交差点の右折待ち車両による詰まりもあり、修善寺駅入口西交差点～駅前交差点間の直進以外の円滑な交通処理（拡幅、右折車線）が必要。

- 目的**
- ①修善寺駅周辺の歩行者安全性向上、玄関口としての賑わい創出
 - ②修善寺駅周辺の都市活動の支障となっている横断交差点に起因する渋滞の解消
 - ③（主）伊東修善寺線の修善寺駅周辺の交差点改良（右折車線等）による道路交通の円滑化

- 目指す将来像**
- ＜歩行者・自転車利用者・駅利用者＞
 - ・市民が安全に通勤・通学できるまち
 - ・市民、観光客が快適に滞在でき、玄関口としての賑わいが生まれるまち
 - ＜公共交通＞
 - ・鉄道とバス、タクシーが乗り換えしやすいまち
 - ・バス、タクシーが安全・円滑に発着でき、便利なまち
 - ＜道路交通＞
 - ・通過交通と地元車両が適切にすみ分けるまち
 - ・車両はゆっくり安全運転で歩行者と共存するまち
 - ＜新たなモビリティ＞
 - ・グリーンズローモビリティなど多様な移動サービスが利用しやすいまち

- まちづくりの方針**
- ①【賑わい】商業・観光の拠点としての賑わい創出
公共のオープンスペース（広場、歩道）と緑地、土地や建物の柔軟な活用を促す。
 - ②【交通】伊豆市の玄関口・交通結節点としての機能強化
鉄道の終着駅である利点を最大限に活かした公共交通空間に再編する。
 - ③【道路】各道路の役割の明確化（主要幹線、補助幹線、生活道路等）
道路拡幅や交差点改良を進め、信号現示や交通規制のあり方も見直す。